

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞**(代表:飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX:06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

毎月15日にホームページで発行 <冊子1冊300円,年間3000円>

港新聞が閲覧できる場所

港図書館(弁天2-1-5), 港市民センター(弁天2-1-5), 港近隣センター(八幡屋1-4-20), 港区老人福祉センター(夕凧2-5-22), 弁天町ORC200生涯学習センター(弁天1-2-2-700), 銭湯(朝日湯除く), 港区在宅サービスセンター(弁天2-15-1), 築港在宅サービスステーション(築港2-4-16), 港スポーツセンター(田中3-1-126), ほのぼの休憩所(八幡屋商店街内), 石炭倉庫(波除6-5-18), シネ・ヌーヴォ(西区九条1-20-24), 韋駄天尊(繁栄商店街内), 珈琲館隠岐(磯路3-25-6), 港カギ防犯センター(港晴1-4-8,磯路2-11-3)

パソコントラブルレスキュー



パソコンに関するのなら、すべておまかせください。

▼ 矢野システム研究所

- パソコンが起動あがらない
- データを消してしまった、消えてしまった
- ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ウィルスが進入して困った、どうしよう
- 外国船のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

出版のことなら

社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集

お気軽にご相談ください

地元の出版社

JDC出版

TEL6581-2811

FAX6581-2670

港区波除6丁目5-5

ゆうやけ

★圧倒されながらもパワーをもらったのは「港区成人の日記念のつどい」(1頁)。毎年のことながら、中学時代のスライド上映や恩師のはなむけの辞には、本人たちのみならず、記者も胸キュン。その新たな旅立ちへの決意を訊く「新成人ぶっつけインタビュー」(14頁)では心を洗濯。社会に人生にそれぞれの言葉で夢と希望を語る姿が眩しく懐かしく、記者を遥かな青春時代へタイムスリップさせてくれました。

★そんな若者の旅立ちも、しっかりした行政あつてのこと。それに区民の声を反映させようと設けられた区政会議(6頁)。港区では「区役所の入念な準備と委員の熱心な参加」(傍聴者

の感想)で回を重ねていますが、その中で地域振興会やコミュニティ協会の在り方に鋭い懸念や注文が出たのが注目されました。

★新年は港区でも伝統行事が健在。墨の匂いと子供らの姿勢が爽やかだった書き初め(30頁)、気迫の演武が冷気を裂いた武道奉納(32頁)。どちらも神社が舞台。日本人であることに改めて気の引き締まる取材でした。

★そんな生き生きした区民の動きを伝えたとあとへ水を差すようで申し訳ないのですが、前頁で告知したように、今号を以て本紙19年の歴史に終止符を打ちます。「よりよい港区づくり」に多少の貢献はできたでしょうか。